

質問回答票

令和5年3月16日に開催されました令和4年度第3回児童福祉専門分科会において、ご質問がありました件について、下記のとおり回答いたします。

ご質問
<p>放課後チャレンジスクールのスタッフの方も地域のボランティアの方で構成されていますが、今、高齢化と成り手不足がすごく問題になっております。ボランティアやサポートを受ける側の方からの募集や有償ボランティア化など、待遇等をどのようにお考えか聞かせていただきたいと思います。</p>
回答
<p>チャレンジスクールのボランティアについてのご質問に、生涯学習振興課より回答いたします。</p> <p>チャレンジスクールのボランティアについては、さいたま市が開設しているボランティアシティさいたまWEB（愛称：ぼらたま）で随時募集を行い、ご登録いただいた方には、チャレンジスクール支援事務局が実施する研修を受講していただいております。研修受講後、ボランティアが希望する活動地区とボランティアを受け入れする学校のマッチングを、チャレンジスクール支援事務局が行い、希望する地域で活動していただけるように調整しています。</p> <p>また、チャレンジスクール近隣の大学11校に御協力いただいて、ボランティアの募集について大学生に周知し、多くの大学生にボランティアとしてチャレンジスクールに参加していただいております。</p> <p>ボランティアの待遇につきましては、チャレンジスクールのスタッフである学習アドバイザー及び安全管理員には、有償で参加していただいております。</p> <p>ボランティアのなり手不足は、生涯学習振興課でも課題と認識しておりますので、今後もボランティアシティさいたまWEBの効果的な運営や、チャレンジスクール支援事務局と連携したボランティア希望者への支援を行うことにより、ボランティアスタッフの不安を解消するよう努めてまいります。</p>